



夏の体験ボランティア実践報告



今年も夏の期間に、中高生向けのボランティア活動体験事業を実施しました。様々なボランティア活動を掲載したリーフレットを中高生に配布したところ、多くの生徒が関心を持って自ら参加いただきました。この事業が、生徒たちにとって新しい学びや発見につながったことを嬉しく思います。本事業にご尽力いただきました受け入れ団体の皆様、リーフレットの配布にご協力いただきました教育委員会、各中学校・高校の皆様に深く感謝いたします。

「夏の体験ボランティア」における【企画数】および【参加者数】内訳の推移

	2017年 (H29)	2018年 (H30)	2019年 (R1)	2020年 (R2)	2021年 (R3)	2022年 (R4)	2023年 (R5)	2024年 (R6)	2025年 (R7)
(企画数)	126	133	128	*	30	52	89	179	227
(参加者数)									
小学生	36	19	23	*	9	6	121	45	50
中学生	247	249	280	*	104	186	349	453	744
高校生	830	1159	896	*	174	499	636	954	987
大学生等	17	49	55	*	3	1	16	39	23
その他	58	115	45	*	23	19	146	109	85
担当職員	49	123	52	*	31	33	119	180	142
県全体	1,237	1,714	1,351	*	344	744	1,387	1,780	2,031

(注)・R7の参加者数は令和7年10月10日時点の数値。今後、残り4企画が報告予定。

・令和2年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から実施しなかった。

・平成29年から「夏の体験ボランティア」として実施。それ以前は「季節の体験ボランティア」として夏と冬に実施。

「夏の体験ボランティア」が実施されて以来、県全体での参加者数が過去最大となりました！特に中学生の参加者数の増加にご注目ください！！少子化が進む中、ボランティアを行いたいという学生のニーズは確実に高まっています。



中学生の参加者数が昨年度と比べ、約1.6倍増加しています！



村山

7月31日（木）、山形市動物愛護センター（わんにゃんポート）で行われた「猫の世話やふれあい・譲渡事業のお手伝い」に参加した高校生の様子をご紹介します。この日は猫のゲージ清掃や給餌のほか、譲渡につなげるためのふれあい活動も行いました。将来、動物関係の職に関心を持つ生徒も参加しており、保護猫の現状や、殺処分をなくすために多くの人が尽力していることを学ぶ良い機会となりました。



最上

7月30日（水）、新庄市社会福祉協議会企画の「日新放課後児童クラブ」で行われた「放課後のヒーローになろう！放課後児童クラブボランティア」に参加した高校生の様子をご紹介します。この日は子どもたちと一緒に体を動かしたり、先生方のお手伝いを行いました。なお、この日参加した高校生は、昨年も約6日間ボランティアを経験し、今年は約1週間参加する予定とのことでした。継続で参加してくれる姿勢も素晴らしいですね♪



庄内

9月7日（日）、金峰少年自然の家で行われた「増えすぎた木を伐採して、元気な森にしよう！」に参加した中高生の様子をご紹介します。晴天のなか森に入って、金峰倶楽部の方々からご指導いただきながら、下刈りや階段補修などの里山の整備と花壇整備を行っていました。今年度は9名の中高生ボランティアが手伝ってくれました。来年度もぜひお手伝いしてほしいそうです。これからも、次の人が楽しく里山を利用できそうです。



置賜

8月25日（月）、南陽市のみんなの居場所「にじ」で行われた「子ども食堂」参加者とボランティア高校生等の様子です。ここでは、地域のコミュニティとの交流を図る場として、月に1回の頻度で昼食を提供しています。この日は、南陽高校の生徒さんとダイナム山形南陽店の職員もボランティアで参加し、遊びと昼食で元気に楽しく交流していました。ボランティアの皆さん、ありがとうございました。

主催事業『防災×若者フォーラム2025』



9月14日（日）青年の家主催事業「防災×若者フォーラム2025」が開催されました。ワークショップ「災間を生きる君たちへ～災害は忘れる前にやってくる～」では、（講師：宮城県石巻西高校元校長／防災士）齋藤幸男先生のご経験をもとにした講話をいただきました。大人と高校生が連携して、避難所運営にあたった実例では、インタビュー動画を視聴後、個々の意見をもとに対話しながら班の意見へとまとめ発表する場面もありました。この過程そのものが、素晴らしい学びの場になっているのを感じました。また、「p4c」による「対話」で、あきらめない心について考え、自分事として「若者からのメッセージ」を受講者に考えさせ、最後の各個人の提言では、高校生をはじめとした受講者が力強く発表していたことに大変感銘を受けました。この講座を経た受講者は、今後の防災・減災意識の重要性を深く認識し、各部署、各地域でますます活躍してくれるものと確信しております。



主催事業

『青年の家de寺子屋』



8月6日と7日の両日、「青年の家de寺子屋」が実施されました。最初にアイスブレイクを行い、参加している児童とボランティアスタッフの間で信頼関係を築くとともに、「楽しさ」をプラスしながら学習へと導く工夫をしました。学習に集中しづらい児童たちも、学生ボランティアや他の児童との交流を通じて、次第に学習に集中できるようになっていく様子が見られました。学生ボランティアにとっては、児童と触れ合ったり教えたりすることの喜びや難しさを実感できたようで、非常に貴重な経験となったようです。ボランティアの活躍は参加児童からも大変好評でした。ボランティアの皆さんのご協力に心より感謝いたします。



<< 8・9月のご利用ありがとうございました >>

【宿泊】

- Onicoこえ、YMLP、nicoぶらAd合同合宿
- 山形大学競技舞踏部 ○東北大学フォークダンス同好会
- 東北大学SF・推理小説研究会 ○国立大学法人山形大学
- 少林寺拳法東北学生連盟

【日帰り】

- 天Jソフトテニス、○1st. Rev. BC（バスケットボール）
- T3B（バスケットボール）○ジュニアバドミントンクラブ
- HOOP is LIFE（バスケットボール）○チーム遠藤（バスケットボール）
- 天童市バドミントンスポーツ少年団、○山口バドミントン ○神町バドミントン愛好会
- 鈴木チームバドミントン ○サンケングループ（バドミントン）○東根バレーボールスポーツ少年団
- 天童高校ダンス部 ○東桜かるた練習会 ○天童市立舞鶴保育園（運動会練習）○天童幼稚園（運動会練習）
- 彗琥会 ○ローターアクト ○山形ビルサービス ○山形県中学校技術科教員自主研修会
- 山形県生涯教育・学習振興課「教育事務所等社会教育主事等会議」 ○東北大学社会教育主事講習
- 村山教育事務所「MYボランティアスキルアップセミナー」 ○青年の家 de 寺子屋 ○防災×若者フォーラム2025



山形大学競技舞踏部



山青グラフィティ

所長室：黒塗りのレザータッチの応接セットが、この部屋の中に一つの重みを占めていた。来客の多くは、この部屋で一通りの運営概要を聞いて、それから青年教育についての意見を交わすことになる。（1967年記録メモより）